

## 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

### 1 単元名 「出会いのアルバム」

### 2 単元の目標

学級、学年の友達や異学年の児童との交流、地域の人との出会いの中で「出会いのアルバム」をつくり、整理することを通して、自分を見つめ、学校や地域で自分にできることを考え、実践を試みる。

### 3 単元の評価規準

I 課題追究力	II かかわる力	III 表現する力	IV ふりかえる力
(ア) あこがれや理想をもったり、地域の課題を見いだしたりすることができる。 (イ) 地域の課題の解決に迫るように自分にできることを計画し、試みることができる。	(ア) 出会った人に対して聞きたいことを質問することができる。 (イ) 学校や地域で自分にできることをマナーや接し方を考え、試みることができる。	(ア) カードに心が動かされた人、心が動かされたこと、その理由、出会った人の考えを書くことができる。 (イ) カードをアルバムにまとめて発表したり、グループでカードを分類し考えをまとめて発表したりすることができる。	(ア) アルバムを読み直しあこがれや理想に気付いたり、話し合いを通して出会った人たちの様々な面や共通点を見いだしたりすることができる。 (イ) これまでの活動を振り返り、「出会い」について自分の考えを書くことができる。

### 4 指導の構想

#### (1) 単元について

本単元では、子どもは学級、学年や異学年の児童と交流したり、地域で活動する人から話を聞いたりしたことを「出会いのアルバム」に記録、整理し、自分をみつめ、自分にできることを試みる活動を行う。

本単元を学習する意義は、次の3点である。

#### ① 「出会いのアルバム」をつくり続けることで、出会った人のよさを知ること

子どもは、学級、学年や異学年の児童と交流したり地域の人と出会ったりして、「心が動かされた人・心が動かされたこととその理由」をカードに書き、「出会いのアルバム」にまとめていくことを継続する。このことを通して、気持ち、思いや願い、人柄等から出会った人のよさを知る。

#### ② 「出会いのアルバム」を整理することで、あこがれや理想に気づき、出会った人たちの様々な面や共通点を見いだすこと

子どもは、定期的に「出会いのアルバム」を読み直し、心が動かされた理由をカード化して再構成する。このことを通して、自分のあこがれや理想に気付く。また、出会った人たちの言動、思いや願いを、人柄をカード化し、グループで分類する。このことを通して、出会った人たちの様々な面や共通点を見いだす。

#### ③ 地域の課題解決に取り組む人と出会うことで、「自分にできること」を試みること

子どもは、地域の課題解決に取り組む人と出会い、その人の思いや願い、人柄を知る。このことを通して、子どもは地域の課題を見出す。その上で、自分にできることを考え、実践を試み、地域の中での自分の在り方を考える。

## (2) 単元について

### ① 本単元を設定した意図

この学級の子どもは、4月にクラス替えをして新たなスタートを切った。

昨年度、授業中の徘徊、友達や教師への暴力的な言動等の問題行動を伴う子どもがおり、学校生活に不安を感じている子どもが少なくなかった。

昨年度末、学校評価を行った際の子どものアンケートの一部の結果である。

◇「学校生活は楽しいですか」※数値は4学年のデータ ( )内は全校のデータ

・すごく楽しい	・・・13.6% (28.0%)
・楽しい	・・・63.6% (52.4%)
・楽しくない	・・・6.8% (4.9%)
・どちらとも言えない	・・・15.9% (14.5%)

この結果からも、当該学年の子どもは、全校の子どもに比べ、学校生活に不安をもっている者が多かったことがわかる。その背景には、問題行動を行う子どもへの対応を伴わざるを得なかった授業、暴力的な言動に怯えねばならなかった学校生活があった。子どもは、自分の身を守るために行動せざるを得ない状況にあり、じっくり自分をみつめ、友達のよさを実感しながら共に生活をつくりあげていく楽しさを味わうことができなかった。

こうした子どもが、自分をみつめ、他者のよさを知り、自分のあこがれや理想を自覚しながら、学校生活や地域に共に働きかけるようになってほしいと考え、本単元を構想した。

### ② 第1期の活動(4月～7月上旬)

活動の始めは、「これまでに自分の心を動かした人」とその理由を問うた。子どもはこれまでの経験から、印象に残っている人を想起し、人名を挙げ、理由を考えた。その際、人名と理由をカードに書き、八つ切りの画用紙に貼らせ、「出会いのアルバム」として綴ることができるようにした。

5月上旬の段階では、家族やこれまでの担任、友達、スポーツ選手、作家、タレント等の名前が挙がった。理由については以下の通りであった。

① 怖いから、おこるから	・・・9人 (15.3%)
② やさしいから	・・・8人 (13.6%)
③ おもしろいから	・・・6人 (10.2%)
④ 友達だから	・・・6人 (10.2%)
⑤ 好きな作家だから	・・・6人 (10.2%)
⑥ 親で大切にしてくれるから	・・・5人 (8.5%)
⑦ 自分もそうなりたいから	・・・4人 (6.8%)
⑧ びっくりしたから	・・・4人 (6.8%)
⑨ うれしいから	・・・3人 (5.1%)
⑩ 勉強やためになることを教えてくれるから	・・・3人 (5.1%)
⑪ その他	・・・5人 (8.5%)

このことから、この時期の子どもにとっての「自分の心を動かした人」とは、その多くが「可愛い」、「やさしい」、「おもしろい」と感じる人であることが分かった。この「人」は、家族や教師、友達であった。子どもは、多くの場合において、身近な人を表層的な「快・不快」の観点で見ていることが分かった。

その後、「運動会」や「自然体験教室」、「出会い・ベスト3」を通して、学級、学年の友達

とかかわった場で「自分の心を動かした人」とその理由を問い、アルバムとしてまとめて行く活動を続けた。その結果、以下のような変化が見られた。

自然体験教室の後の「一番心を動かした人」の理由

- ① 友達の努力を認めることに関する記述 … 9名 (39.1%)  
※「～をしてがんばっていた」「～をしてすごかった」「～をしている様子が一生懸命だ」
- ② 友達のおもしろい様子に関する記述 … 8名 (34.8%)  
※「～をして楽しかった」「～をしておもしろかった」
- ③ 友達に感謝することに関する記述 … 5名 (21.7%)  
※「～をしてくれてうれしかった」
- ④ 友達に対して立腹したことに関する記述 … 1名 (4.3%)  
※「～をされて頭にきた」

「出会い・ベスト3」で「一番心を動かした人」の理由

- ① 友達等の努力を認めることに関する記述 … 12名 (46.2%)
- ② 友達に感謝することに関する記述 … 7名 (26.9%)
- ③ 友達のおもしろい様子に関する記述 … 5名 (19.2%)
- ④ 友達に対して立腹したことに関する記述 … 2名 (7.7%)

以上のことから、単に「こわい」、「やさしい」、「おもしろい」という表層的な観点から、自分の活動を見つめ、友達の努力等、そのよさに目を向けるようになっていったと考える。

### ③ 第2期の活動（7月中旬～12月中旬）

#### ア T氏との出会い

子どもが友達等の他者のよさに目を向けるようになったことを受け、7月中旬、地域の子どもたちにかかわる活動を行っているT氏との出会いの場を設定した。

T氏は、当地区に在住している。放課後の子どもたちの遊び場の運営（『ふれあいスクール』）をしており、毎週この地域の子どものためとかかわっている人である。他、社会体育（剣道教室）、他のスポーツ団体との調整（スポーツ振興会常任理事）、地域の子どもの健全育成（街頭育成員）等、地域の様々な分野で活躍している。

子どもは、T氏が「ふれあいスクール」の運営のために週に2回学校に来ていることを初めて知ったり、地域の子どものために多くの活動をしていることを知ったりして、大変驚いた。T氏の「自分にできる範囲のことを仲間と協力してやっている」という言葉も、子どもには強く響いた。

T氏のこうした言葉を受けて、子どもは「全校交流遠足」、「文化祭」での縦割り鑑賞活動（10月）、「就学時健康診断」（11月）で、低学年や年長児との交流をもった。これらの活動を通して、子どもは低学年や年長児の気持ちを感じ取り、それにあった言動を考えて行動したり、自分の姿を見つめ、アルバムとしてまとめたりした。自分たちの努力の成果で、低学年や年長児は喜び、担任を始め校内の教職員からも誉められたことで、子どもは次第に「自分たちにできることにもっと取り組んでみたい」と考えるようになった。

そこで、子どもたちにT氏が活動している「ふれあいスクール」で活動することを提案した。

子どもは「ふれあいスクール」で活動することを楽しみにしていた。しかし、実際の場合では、何をどのようにして活動すればよいか、大いに戸惑った。思いが空回りした状態で

あった。活動後、その様子を振り返った。子どもは、「ふれあいスクール行って単に小さい子どもと遊んでいるだけじゃだめだ」、「小さい子どもと遊ぶ以外にもっと仕事がある」、「全体としては、活動は失敗だったけれど、小さい子どもの笑顔はうれしい」等の考えを出し合った。それを受けて、再度「ふれあいスクール」で活動し、T氏を始めスタッフからも感謝され、成功の手応えを感じた。

## イ Y氏との出会い

子どもが「自分たちにできること」を実行し、成功の手応えを感じるようになったことを受け、12月上旬、子どもの視野がさらに地域へと広がるように、Y保夫氏との出会いの場を設定した。

Y氏も当地区在住である。当地区の自治会長を務めている。毎朝の散歩の傍ら、10年間以上もごみ拾いを続けている。作業は午前5時から2時間に渡る。

子どもは、Y氏がほとんど毎日、早朝に地域のごみ拾いをしている事実を知らなかった。そして10年以上も一人でごみを拾っていることに驚いた。「ごみ拾いは自分への挑戦であり、自分への約束である」、「ごみ拾いを人に強制するつもりはない。人から言われても（言われた人は）やる気にならない」、「（子どもたちに対して）マナーの悪い大人にはならないでほしい」という言葉も、子どもには強く響いた。

Y氏のこうした言葉を受け、子どもに当地域の課題を問うた。子どもは、「ごみ問題」と「不審者問題」を挙げた。いずれもこの地域の大きな課題である。子どもにとっても、登下校の時や遊んでいる時等、毎日の生活の中で感じていたことであった。

子どもは、これまでのアルバムを読み直し、出会った人たちの「自分の心を動かした理由」を振り返った。子どもは、単に「こわい」、「やさしい」、「おもしろい」という表層的な観点から、「ごみ拾いは自分への挑戦であり、自分への約束である」等、出会った人物の思いや願いといった観点から他者を見たり、そうした人にあこがれや理想を見いだしたりし始めたことを知った。その結果は、以下の通りである。

- ① 「出会いのアルバム」で出会った人で、あなたの心を一番動かした人は誰ですか。
- ・ Yさん……14名（48.8%）  
（理由…「地域のためにごみを拾っているから」、「『自分への挑戦』として自分からごみを拾っているから」、「『自分に約束』という言葉に心が動かされたから」、「ごみ拾いと自治会長をちゃんとやっているから」、「朝早くからごみ拾いをしていることから（前にぼくもごみ拾いをやったけどすごく大変だったから）」等）
  - ・ 友達……8名（27.6%）  
（理由…「ほめてくれたから」、「キャンプで火をおこすのが上手かったから」、「『さくらの広場』での活動を頑張っていたから」等）
  - ・ Tさん……4人（13.8%）  
（理由…「地域でいろいろ頑張っているから」、「細かい所までしっかり見ているから」、「優しく教えてくれたから」、「安全を守ってくれているから」等）
  - ・ その他（家族、担任、作家）……3名（10.3%）
- ② 「出会いのアルバム」で出会った人で、あこがれる人は誰ですか。
- ・ Yさん……13名（44.8%）  
（理由…「ごみを拾って地域のためにしていることがすごいから」、「『自分から』ごみ拾いをしていることがすごいから」、「いつもごみ拾いをしているから」、「疲れても『自分への挑戦』と言っているから」、「元気があってみんなのためにがんばっているから」等）
  - ・ Tさん……8人（27.6%）  
（理由…「『子どもが好きだからさくらの広場に入った』と話していたから」、「優しいし頑張っているから」、「地域でいろいろなことをしているから」、「自分からあいさつをしているから」等）
  - ・ 友達……4人（13.8%）  
（理由…「〇〇さんのように優しくなりたいから」、「△△さんは、サッカーが上手だから」、「□□さんは、絵が上手だから」等）
  - ・ その他（作家、タレント、スポーツ選手）……4名（13.8%）

#### ④ 第3期の活動（1月～3月）

Y氏との出会いを受け、子どもはこの地域の課題を「ごみ問題」とし、「自分にできること」として地域のごみ拾いを始めた。

地域には子どもが思った以上にごみがあった。子どもは友達と協力して意欲的にごみを拾うと共に、Y氏の苦労を改めて実感した。このことを通して、ごみを減らすために「自分にできること」としてごみ拾いを継続すると共に、地域にどのように働きかけるとごみが減るかを考え始めた。そのための方法を、Y氏、堀淳士氏との出会いから考える。

H氏も当地区在住である。「地区コミュニティー協議会まちづくり部」において部員として活躍している。昨年11月に「宝さがしワークショップ」を開催し、12月の「まち歩き」では、そのコースを立案、その後、「第2回 宝さがしワークショップ」を開催した。堀氏は地域の住民の思いや願いが実現し、皆が幸せを感じられる社会となるように「共助」の視点を大切にして活動を進めている。地域おこしのための人材育成にも尽力している。

今後、2月から3月は、これまでの出会いや自分のあこがれや理想を受けて、「自分にできること」として、ごみ拾い等を継続したり地域への啓発活動を行ったりする。活動の終末では、年間の活動を振り返り「出会い」について自分の考えをポスターや作文にまとめたりして、年間の活動を締め括る。

### 5 指導の構想

自分を見つめること、他者のよさを知ること、自分のあこがれや理想を見出すこと等には、抽象的な思考が伴う。こうした思考を顕在化させ、新たな気付きや考えが生じるように、継続的に記録したり、振り返ったり、グループで話し合ったりする活動を設定する。子どもたちが、じっくり自分を見つめ、友達や地域の人等、他者のよさを実感しながら共に生活をつくりあげていくように、次の手だてをとる。

#### (1) 「心が動かされた人・心を動かされたこととその理由」のカード化と「出会いのアルバム」に分類して貼る場の設定

出会いを通して感じたことや考えたことを明確し、分類してしやすいように「心を動かした人・心を動かされたこととその理由」をカード1枚につき1つの事柄を書くようにする。そのカードを自分の意図をもって、分類してアルバムに貼ることにより、その人に対する自分の思いや考えを明らかにし、他者思いや願い、その人のよさを知る。

#### (2) 「出会いのアルバム」を整理して見直す場の設定

これまでの活動の自分にとっての意味を確認し、友達の考えを知ることができるように、「『出会い・ベスト3』をまとめよう」や「班ごとに『TさんとYさんの人柄』を探ろう」と提案し、活動を振り返る場を定期的に設定する。「出会いのアルバム」を読み直したり友達と交流したりすることにより、自分のあこがれや理想に気付いたり、出会った人たちの共通点を見いだしたりする。

#### (3) 「自分にできること」を試みる場の設定

あこがれや理想をもち、地域の課題の解決に向けて自ら行動することができるように、自分にできることを試みる場を設定する。学校内から地域へと出会う人を広げ、その人の思いや願い、人柄に触れることにより、学校内から地域へと視野を広げ、自分にできることを試み、地域の中での自分の在り方を考える。

6 指導と評価の計画 (全60時間)

時	○ ねらい ・ 主な学習活動	評価規準 (B) の状況 【評価方法】	評価観点				十分満足できる (A) 状況	努力を要する(C) 状況への手だて
			I	II	III	IV		
21 時間 (4 月 7 月 上 旬)	<p>&lt;身の回りの人との出会い&gt;</p> <p>○ 自分の心が動かされた人を探す活動を通して、今後の活動への意欲をもつ。</p> <p>・「心が動かされた人とその理由」をカードに書き、アルバムにまとめる。</p> <p>○ 「身の回りの人との出会い」を振り返る。</p> <p>・「出会い・ベスト3」として出会いを振り返り、まとめ、発表する。</p>	<p>・自分の心が動かされた人について、5枚程度のカードに書き、理由をもってアルバムにまとめる。</p> <p>【カードへの記述、アルバムの作成での観察】</p> <p>・出会いを振り返り、アルバムを基にして、自分の思いや考えを発表する。</p> <p>【発表のための原稿の記述、発表の様子の観察】</p>			◎		<p>・自分の心が動かされた人について、明確な理由をもって10枚程度のカードに書く。</p> <p>・心が動かされた人への自分の思いを明確にして、カードをアルバムにまとめる。</p> <p>・自分の心が動かされた人について明確な理由をもち、順序よく、端的に説明する。</p>	<p>・その日に出会った人、これまでに出会ったことのある人の名前を共に挙げ、「いいな」と思う人を選ぶように指示する。</p> <p>・「いいな」と思う度合いによって、アルバムでのカードの位置を決めるように指示する。</p> <p>・アルバムの周りに聞き手を集め、言葉を付け足しながら説明を促す。</p>
23 時間 (7 月 中 旬 12 月 中 旬)	<p>&lt;地域で活動している人との出会い&gt;</p> <p>○ T氏に出会い話を聞くことを通して、思いや人柄を知る。</p> <p>・「自分の心が動かされたこと」をカードに書き、アルバムの台紙にまとめる。</p> <p>○ 校内の各種行事での出会いを通して、異学年の児童等と交流した時の自分を振り返る。</p> <p>・「全校交流遠足での出会い」</p> <p>・「就学時健康診断での出会い」</p> <p>○ 「さくらの広場」で活動することを通して、自分にできることを試みる。</p> <p>・「さくらの広場」で活動することについて、T氏の話を通</p>	<p>・T氏の話聞き、心が動かされたことを数枚のカードに書き、アルバムにまとめる。</p> <p>【カードへの記述、アルバムの作成での観察】</p> <p>・友達の考えを聞き、自分との共通点、相違点を知る。</p> <p>【発言・観察】</p> <p>・小さな子どもと交流する校内の行事での出会いを振り返り、自分の心が動かされた人やことを5枚程度のカードに書き、アルバムにまとめる。</p> <p>・実際に活動し、心が動かされた人やことを5枚程度のカードにまとめる。</p> <p>【カードへの記述</p>	○	◎	◎		<p>・T氏の話聞き、心が動かされたことを明確な理由をもって5枚程度のカードに書き、分類してアルバムにまとめる。</p> <p>・地域のために活動する人の思いを知り、その視点から身の回りの人を考え、T氏以外の具体的な人名を挙げる。</p> <p>・体験を通して自分の心が動かされた人やことを明確な理由をもって10枚程度のカードに書き、分類してアルバムにまとめる。</p> <p>・体験を通して心が動かされたこと明確な理由をもって10枚程度のカードに書き、分類してアルバムにまとめる。</p> <p>・アルバムをつかった過程を振り返り、カードの意</p>	<p>・T氏の話と一緒に振り返り、驚いたこと、感心したことを中心に言葉にして出し合う。</p> <p>・数名の発表を通して、キーワードを板書し、数枚のカードに書き、アルバムにまとめる。</p> <p>・活動を一緒に振り返り、驚いたこと、難しかったこと、うれしかったこと等を言葉にして出し合う。</p> <p>・アルバムをつかった手順を確認し、カードの意味や位置と一緒に</p>

	<p>聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さくらの広場」で自分にできることを考え、試みる。</li> </ul> <p>○ Y氏に出会い話を聞くことを通して、T氏とは別の方法で地域で活動している人物の存在、思いや考え、地域の課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の心が動かされたこと」をカードに書き、アルバムの台紙にまとめる。</li> </ul> <p>○ 「心が動かされた人の理由を探ろう」とし、これまでのアルバムを読み直すことを通して、自分のあこがれや理想を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心が動かされた人」と、その理由に着眼し、分類する。</li> <li>・アルバムにまとめる。</li> </ul>	<p>アルバムの作成での観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えを聞き、自分との共通点、相違点を知る。</li> </ul> <p>【発言・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Y氏の話を読み、心が動かされたことを数枚のカードに書き、アルバムにまとめる。</li> </ul> <p>【カードへの記述、アルバムの作成での観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えを聞き、自分との共通点、相違点を知る。</li> </ul> <p>【発言・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いを振り返り、アルバムをもとにして、自分によく現れる心进行分类し、自分のあこがれや理想を知る。</li> </ul> <p>【カードへの記述、アルバムの作成での観察】</p>	○	◎	◎	<p>味や配置、自分にとっての意味について、明確に文章にまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Y氏の話を読み、心が動かされたこと明確な理由をもって5枚程度のカードに書き、アルバムにまとめる。</li> </ul> <p>・自分によく現れる心について明確な理由をもって分類し、アルバムにまとめ、自分のあこがれや理想を知る。</p>	<p>言葉に出して書くことを促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Y氏の話と一緒に振り返り、驚いたこと、感心したことを中心に言葉にして出し合う。</li> <li>・数名の発表を通して、キーワードを板書し、数枚のカードに書き、アルバムにまとめる。</li> </ul> <p>・アルバムを振り返り、「心が動かされた人」の理由と一緒にカードに書く。</p>
16時間（1月～3月）	<p>&lt;自分にできることを試みる&gt;</p> <p>○ 地域の課題の解決に向けて、「自分にできること」を試みるための計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏、Y氏の共通点を班ごとに話し合い、ポスターにまとめる。</li> <li>・地域の課題の解決に向け、「自分にできること」を試みる場、計画を立てる。</li> </ul> <p>○ 地域の「ごみ問題」の解決を試みる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のごみ拾いを行う。</li> <li>・地域のごみの実態を地図にまとめる。</li> <li>・Y氏の話を読み、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏、Y氏の思いや願い、人柄をカードに書き、班ごとに分類、整理する。</li> </ul> <p>【カードへの記述、班での活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分にできること」を試みる場を決め、そのための計画を立てる。</li> </ul> <p>【発言・観察、作文シートへの記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ拾いに積極的に取り組み、その現状をまとめ、対策を考える。</li> </ul> <p>【活動の観察、発言・観察、作文シートへの記述】</p>	◎	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏、Y氏の思いや願い、人柄をカードに書き、カードの分類、整理でT氏、Y氏の共通点をキーワードを出して、まとめる。</li> <li>・自分のあこがれや理想、地域の課題と関連づけて、自分にできることを設定し、計画を立てる。</li> </ul> <p>・ごみ拾いを友達と協力して積極的に取り組み、その現状を分析し、原因を探り、対策を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏、Y氏のアルバムを読み直し、思いや願い、人柄に関する記述と一緒に確認し、カードに書く。</li> <li>・出会った人であこがれる人、その人が取り組んでいることを聞き、やってみたいことを共に考える。</li> </ul> <p>・ごみ拾いを通して感じたことや考えたことを一緒に思い出す。</p>

	地域の「ごみ問題」を解決する方法を考え、ポスターにまとめる。						
本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H氏の話聞き、地域の「ごみ問題」を解決する方法を考える。</li> <li>① 本時の学習の流れを知る。</li> <li>② 前時につくったポスターをH氏に発表し、地域の「ごみ問題」を解決する方法を伝える。</li> <li>③ H氏の話聞き、地域の「ごみ問題」解決のための視点、方法を探る。</li> <li>④ H氏の話聞いて、地域の「ごみ問題」解決のためのアイデアや方法を付箋紙に書き、自分の考えをまとめる。</li> <li>⑤ 班ごとに付箋を付箋を分類、整理して、地域の「ごみ問題」解決のための方法を話し合い、考えをまとめる。</li> <li>⑥ 班ごとに考えを発表し、H氏に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H氏の話聞き、H氏の立場からの「ごみ問題」解決のためのアイデアや方法を付箋紙に書く。 【付箋紙への記述】</li> <li>・カードを班ごとに分類、整理し、これまでの考えとの異同を確かめ、「ごみ問題」解決のための方法を考える。 【班での話し合い、ポスターへの記述】</li> </ul>	◎	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H氏の話聞き、明確な理由をもって、堀氏の立場からの「ごみ問題」解決のためのアイデアや方法を付箋に書く。</li> <li>・付箋を班ごとに分類、整理し、これまでの考えとの異同を確かめ、「自分のできること」としてこれまでにやってきたこと、自分のあこがれや理想と関連付けて、「ごみ問題」解決のための方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書したH氏の視点や方法を一緒に振り返り、付箋に書くことを考える。</li> <li>・付箋を読みながら関連する付箋と一緒に貼り、思いを発表する。</li> </ul>
	○ 1年間の出会いを振り返り、その意味を考え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバムや作文シートを活用し、「出会い」についての自分の考えをポスターや作文シートにまとめる。 【ポスター、作文シートへの記述】</li> <li>・アルバム等を活用して、自分の考えを発表する。【資料の準備、発表の様子の観察】</li> </ul>	◎		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動を振り返り、キーワードを使って端的にまとめ、地域で生きる自分についての考えを発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動を時間列で振り返り、出会った人物に対する感想と一緒に書き綴る。</li> </ul>



## 7 本時の学習（指導全60時間，本時50時間目，60分授業（4モジュール））

### (1) 本時のねらい

H氏の話聞き，班で話し合うことを通して，地域の「ごみ問題」を解決するための方法を考える。

### (2) 本時の学習活動における具体の評価規準と十分満足できる（A）状況の判断基準

<p>&lt; Bの状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ H氏の話聞き，堀氏の立場からの「ごみ問題」解決のためのアイデアや方法を付箋に書く。</li><li>・ 付箋を班ごとに分類，整理し，これまでの考えとの異同を確かめ，「ごみ問題」解決のための方法を考える。</li></ul>	<p>&lt; Aの状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ H氏の話聞き，明確な理由をもって，H氏の立場からの「ごみ問題」解決のためのアイデアや方法を付箋に書く。</li><li>・ 付箋を班ごとに分類，整理し，これまでの考えとの異同を確かめ，「自分にできること」としてこれまでにやってきたこと，自分のあこがれや理想と関連付けて，「ごみ問題」解決のための方法を考える。</li></ul>
---	--

### (3) 本時の構想

本時のねらいを達成させるために，以下の手だてをとる。

#### ① 最初に本時の流れを提示すること

本時全体の学習内容をその順序に従って四つ切りの画用紙に書き，授業の最初に子どもに提示する。このことにより，本時の学習の全体の見通しをもてるようにする。また，学習の進行に応じて順番を示す番号の部分に赤いマグネットを貼り際立たせることにより，その時点で学習内容を明らかにし，何をすべきか，考えるべきかを全ての子どもが参照できるようにする。

#### ② H氏との出会いの場を設定すること

Y氏との出会い，前時までのごみ拾いの活動から，子どもは「地域の『ごみ問題』の根本には，大人のマナーの悪さがある」，「ごみを拾っても拾っても，そう簡単には減らない」，「来年度，新潟市はごみの処理は有料化となる」，「地域の『ごみ問題』を解決することは難しい。どうすればよいか」と考えている。10年以上に渡り一人で地域のごみを拾い続けてきたY氏の言葉，実際に子どもが経験した事実は重い。そこで，「まちづくり」の視点から地域で活躍しているH氏との出会いの場を設定する。このことにより，これまでとは違う視点，方法から地域の「ごみ問題」を考え，解決に向けた取組を探る。地域の「ごみ問題」に関するH氏の視点，方法に関するキーワード言葉を板書し，班ごとに考えを話し合う際，すべての子どもが参照できるようにする。

#### ③ 班ごとに付箋を分類，整理し，話し合う場を設定すること

H氏の話を受け，地域の「ごみ問題」解決のためのアイデアや方法を付箋に書かせる。その上で班ごとに各自が書いた付箋を持ち寄り，前時までにつくったポスターの内容をふまえてカードを分類，整理して話し合う場を設定する。このことにより，前時までの「ごみ問題」解決に向けた方法を見直し，班ごとに考えを明らかにする。本時の授業を60分とし，H氏にも班ごとの話し合いに入ってもらい，子どもからの質問に答えてもらったり，授業の終末で各班からの子どもの考えにコメントをもらったりして，今後の活動に向けて子どもの意欲を高める。

(4) 本時の展開と評価

学習内容・活動	主な教師の働き掛けと児童の反応	指導上の留意点と評価
<p>○ 本時の学習の流れを知る。(3分)</p> <p>○ 前時につくったポスターをH氏に発表し、地域の「ごみ問題」を解決する方法を伝える。(15分)</p> <p>○ H氏の話聞き、地域の「ごみ問題」解決のための視点、方法を探る。(10分)</p>	<p>今日の学習(60分)は、  <b>地域の「ごみ問題」を解決する方法を考えよう。</b>          です。          学習の流れは、次のとおりです。          ① Hさんと出会う。          ② Hさんにポスターを発表する。          ③ Hさんの話を聞く。          ④ Hさんの話を聞いて、地域の「ごみ問題」を解決するアイデアや方法を付箋紙に書く。          ⑤ 班ごとに付箋紙を分類、整理してまとめて、地域の「ごみ問題」解決のための方法を話し合う。          ⑥ 班ごとにHさんに考えを発表する。</p> <p><b>地域の「ごみ問題」を解決するための方法を考えます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間も考えたけど、解決することは難しい。</li> <li>・もっとよい方法を考えよう。</li> </ul> <p>今日は、Hさんを紹介します。Hさんは、地域の住民の思いや願いが実現し、皆が幸せを感じられる社会となるように、この地域の「まちづくり」を進めています。          Hさんに地域の「ごみ問題」の様子や解決の方法を聞いてもらい、アドバイスをもらいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域にはとにかくごみが多い。</li> <li>・たばこ、空き缶のポイ捨てが多い。</li> <li>・僕は、犬の糞を踏んだ。すごく嫌だった。</li> <li>・マナーが悪い大人が多い。</li> <li>・お菓子の袋も捨ててあったから、大人だけがマナーが悪いんじゃない。</li> <li>・「ごみ問題」を解決するには、ごみを拾い続けるしかない。</li> <li>・看板を立てて「ごみを捨てるな」と呼びかけたい。</li> </ul> <p><b>Hさんの話を聞いて、地域の「ごみ問題」を解決するためのアイデアや方法を探りましょう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは「自分にできること」として、ごみを拾い続けるしかない。</li> <li>・大人のマナーを向上させるために、自分たちが地域であいさつをすればよい。</li> <li>・自分たちが地域の人たちにあいさつをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に授業の流れを提示する。</li> </ul> <p><b>本時の大まかな流れを理解することができる。【観察】</b></p> <p><b>班ごとに、ポスターを使って発表し、考えをH氏に伝えることができる。【発表の観察】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六つの班がある。発表の時間を2分間とし、ポイントを絞り、端的に発表させる。</li> <li>・子どもの考えを板書し、整理する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H氏には、各班の発表を受けながら、御自身の考え、取組を話してもらう。</li> <li>・H氏の話を書き、整理する。</li> </ul>

<p>○ H氏の話聞いて、地域の「ごみ問題」解決のためのアイデアや方法を付箋に書き、自分の考えをまとめる。(5分)</p>	<p>他に、もっと方法があるかな。</p> <div data-bbox="491 264 1050 398" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hさんの話を聞いて、地域の「ごみ問題」を解決するためのアイデアや方法を付箋に書きなさい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公助」, 「自助」だけでなく, 「共助」ということが大事なんだ。</li> <li>・地域でのあいさつも大事だ。地域が明るくなれば, ごみを捨てる人は減るはずだ。</li> <li>・看板を立てることもいいけど, もっと地域の人に訴える方法を考えたい。</li> <li>・「ごみ問題」について考えるワークショップを開くことはできないかな。</li> </ul>	<div data-bbox="1082 264 1385 499" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>堀さんの話を聞いて、地域の「ごみ問題」を解決するためのアイデアや方法を付箋紙に書くことができる。 【付箋紙への記述】</p> </div> <p>&lt;Cへの手立て&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書したH氏のアイデアや方法を一緒に振り返り、付箋に書くことを考える。</li> </ul>
<p>○ 班ごとに付箋を分類、整理して、地域の「ごみ問題」解決のための方法をお話し、考えをまとめる。(15分)</p>	<div data-bbox="491 763 1050 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>班ごとに付箋を分類、整理して、地域の「ごみ問題」解決のための方法をまとめなさい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分にできること」としてごみ拾いを続けることはみんな同じだ。これは続けよう。</li> <li>・地域の大人に訴える方法として, 「自分たちがあいさつを元気よくする」ことがある。</li> <li>・「ごみ問題」について考えるワークショップを開いて, この地域のごみの様子, 原因を伝えて, 解決の方法をみんなで考えよう。</li> <li>・地域でワークショップを開くには, その前に学年, 学校のみんなに地域の「ごみ問題」を知らせ, 協力し合うことが必要だ。</li> </ul>	<div data-bbox="1082 763 1385 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>班ごとに互いの考えを交流し、付箋紙を分類、整理して、地域の「ごみ問題」を解決するための方法を考える。 【班での話し合い、ポスターへの記述】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班で話し合っている際、H氏への質問を受けるようにする。</li> </ul> <p>&lt;Cへの手立て&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋を読みながら関連する付箋と一緒に貼り、思いを発表する。</li> </ul>
<p>○ 班ごとに考えを発表し、堀氏に伝える。(12分)</p>	<div data-bbox="491 1355 1050 1422" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>班ごとに考えを発表します。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのあいさつが、地域に訴えかける方法の一つだ。朝、学校へ行くときやごみ拾いをしている時のあいさつをがんばりたい。</li> <li>・地域の「ごみ問題」の解決に向けたワークショップを開きたい。まずは学年で、次に学校で、地域のごみの現状や自分たちの考えを伝えたい。</li> <li>・「自分にできること」として、ごみ拾いは続ける。</li> </ul>	<div data-bbox="1082 1355 1385 1556" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>班ごとに、ポスターを使って発表し、考えを堀氏に伝えることができる。【発表の観察】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変更点、思いを強くした点を中心に1分間程度で発表させる。</li> <li>・各班の発表を受けて、堀氏から最後にコメントをしてもらう。</li> </ul>